

チェチェンの難民救え

AMDA 医師ら2人派遣へ

日本のNGO初

ルワンダ、ソマリアなどの難民キャンプで活動を続ける民間の医療援助組織「アジア医師連絡協議会」

共同でロシア連邦との独立紛争が続くチェチェン共和国へ援助スタッフを派遣すると発表した。チェチAMD Aの三宅和久医師

（AMD A、本部・岡山市）エンでは「国境なき医師団」(本部・パリ)など二週間、現地の難民避難

は八日、立正佼成会など



客車を利用したイングーシ共和国・ナズランの難民避難施設。今月末からAMD Aスタッフが活動を始めると2月28日（AMD A提供）

都ナズランの二カ所の避難所に医師らを送ることを決めた。

ロシア語が話せるAMD Aネパール支部の医師と日本人コーディネーターの二人が今月末までに現地入りする予定で、医師資格を持つ現地の難民も雇用する。

戦闘の激しいグロズヌイでも安全が確保され次第活動を行う。